

2019-6 教育研究評議会議事概要

日時 令和元年10月16日(水) 13:30~15:30
場所 事務局棟2階会議室
出席者 駒田学長
山本, 緒方, 尾西, 梅川, 伊藤, 大高, 富樫, 野崎, 橋本, 西村, 鶴岡,
松田, 吉本, 富本, 伊佐地, 安食, 樹神, 鶴原, 藤田, 片山, 村田, 畑中,
伊藤(智), 奥村, 神原, 三宅, 綾野
欠席者 吉松
陪席者 服部監事, 山中監事, 田中(工学部4年生)

◎ 第71回三重大学祭について

議事に先立ち, 三重大学全学大学祭実行委員会から, 第71回三重大学全学大学祭「祭start~平成から令和へ津なぐ~」の開催についての紹介があった。

◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した2019-5教育研究評議会議事概要(案)について, 資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり, 了承された。

◎ 新規構成員等の挨拶

新規構成員等から挨拶があった。

I 審議事項

1. 新年俸制の制度(案)について

尾西理事から, 「資料: 審-1」に基づき, 新年俸制の制度(案)について, これまでの検討の経緯及び提案のポイントについての説明の後, 人事労務課長から, 新年俸制の概要及び新年俸制における教員個人評価と給与への反映について説明があった。子育て支援制度など子育てに対する社会保障制度の受給等への影響については, 新年俸制への移行に伴う所得額の変更により, 影響が出る可能性はあるが, 所得額には兼業等本学以外からの収入も含まれること, 扶養親族等の人数や所得控除によっても変動すること及び世帯単位の所得額により制限のある社会保障制度もあること等から, どのくらい影響するのかを一概に示すことは難しい旨の報告があった。

なお, 尾西理事から, 本日は説明であり, 部局等において改めて意見照会をしていただき, 次回の教育研究評議会で議論をしたい旨依頼があった。

また, 10月3日の大学戦略会議において質問のあった2点について, 1) 承継内教員約670名全員が, 来年度4月1日から一斉に新年俸制へ移行した場合の給与には, プラス4,833万円必要であるが, 本学で財源の確保ができること。2) 会議にかかる教職員の人件費は, 教育研究評議会においては1時間あたり20万円弱, 大学戦略会議においては17万円弱である旨の報告があった。

◇主な意見

○給与の支給回数への対応は, 教員個人レベルで対応が可能か。

→個人レベルではなく, 全学として対応するものである。一人ひとり個別での対応はできない。

○退職金については, どのように支給されるのか。他大学から異動してきた教員が, それまでの退職金の計算を継続できるのか。本学に来て不利になることはないのか。

→退職手当については, 月給制と同じ算定をする。その時適用される級号数に対して, 退

職手当を再計算して算出する。

また、異動前の前職で退職手当を支給されていなければ、勤続年数等は承継する。

○例えば、新年俸制の導入により、他大学との比較の中で、今後人の流動性が生じることも聞く。これまでの学内での身分保障や給与保障については原案で良いと思うが、今回の新年俸制の導入の提案の中に、三重大学が今後人材を取りにくくなる可能性や人材の流出がある可能性等、その様なことも含めた評価における戦略的なことが示されていないので、それ以上の戦略的なマネジメントがあれば、より考えやすいと思われる。

→業績給に対する評価の在り方については、どこに評価の力点を置くのか、文系と理系で大きく分かれることもあり、現在評価専門委員会で検討中である。

○各部長等には、是非個人評価制度をしっかりと考えていただきたい。各部長等によって多少性格が違うので異なる点はあると思うが、それも含めて考えていただきたい。

2. 教養教育共通カリキュラムの変更について

山本理事から、「資料：審－2」に基づき、教養教育共通カリキュラムの変更について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 三重大学医学部医学科収容定員の変更について

尾西理事から、「資料：審－3」に基づき、三重県下において、地域における医師不足が深刻な状況であり、地域医療体制の整備が緊急の課題となっていることより、「『地域の医師確保等の観点からの令和2年度医学部入学定員の増加について』に基づく医学部を置く国立大学の収容定員変更に係る手続きについて（令和元年10月2日付事務連絡）」に基づき、平成31年度を期限とする臨時の定員20名について、再度の定員増の申請を行う旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4. 三重大学における研究活動の不正行為防止等に関する規程等の一部改正について

緒方理事から、「資料：審－4」に基づき、文部科学省の「『研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン』に基づく取組状況に係るチェックリスト」の項目が改正されたこと及び本学での取扱いの見直しに伴い、三重大学における研究活動の不正行為防止等に関する規程及び三重大学における研究活動の不正行為の調査等に関する内規の一部改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 名誉教授称号授与について

企画総務部長から、「資料：審－5、席上配布資料」に基づき、医学系研究科から推薦のあった1名について説明があり、審議の結果、全員一致によって、名誉教授称号を授与することが承認された。

なお、各評議員に事前配付された資料は、本会議終了後、個人情報保護の関係から回収した。

6. その他

なし

II. 役員会報告

1. 第12・13回役員会について

学長から、令和元年度第12～13回役員会について、「資料：役－1、参考資料1～2」に基づき、報告があった。

Ⅲ. その他報告事項

1. 令和元年度業務執行状況（第2四半期）について

各理事・副学長から、「資料：報－1－1，1－2」に基づき、令和元年度業務執行状況（第2四半期）について、「主な取組・成果」「課題・対応方針」を中心とした報告があった。

2. 「国立大学改革方針」調書作成について

尾西理事から、「資料：報－2－1」に基づき、「国立大学改革方針」を踏まえた文部科学省との対話に向けた調書の作成及び今後のスケジュールについて、説明があった。

続いて「資料：報－2－2」に基づき、調書作成にあたり、各学部等への具体的な検討依頼事項について、説明があった。大学がストーリー性を持って大学改革を行い、受験生を集めなければならないため、各学部等においても、受験生を集め卒業生を就職させていくストーリーを持って学部等の改革にあたっていただきたいこと及び方針の原案を各担当理事が作成し、各学部等と議論を行う予定であるが、各学部等においても、資料に示された数字を念頭に、学部学科改革の原案及び第4期における取組みについて考えていただきたい旨の依頼があった。

◇主な意見

○エビデンスは文部科学省が求めているものであり、エビデンスがないと希望だけでは難しい。示されている中央教育審議会の資料も1つのエビデンスであるので、それに対応して、大学の各学部等の教育研究機能はこうあるべきであり、入口出口はこうあるべきである等を、様々なエビデンスを基に考えていただきたい。大学内の資料だけでは十分でない可能性がある。例えば県内の私学及び私立高校のデータ等は集めにくいが、それらも集めなくてはならないとなると、時間的にタイトになる。そういうことも意識をして進めていただきたい。

○今回の調書と法人評価とは、別々に考えて良いのか。法人評価は法人評価として実績をまとめていくが、今回の調書は学部等、大学全体で方向性を出すことで良いか。

→今回の調書作成は、第4期中期目標中期計画の基本的な内容になるので、別々で対応していくことで良い。第4期中期目標中期計画についても、なるべく調書作成時にオープンにして、みなさんに知っていただきながら作り上げていきたいと考える。

3. 高等教育段階の教育費負担軽減新制度にかかる機関要件の確認申請結果について

山本理事から、「資料：報－3」に基づき、高等教育段階の教育費負担軽減新制度にかかる機関要件の確認申請の結果について、文部科学省より、要件を満たしていることの確認の通知が届いた旨の報告があった。

なお、この機関要件については、今後も毎年報告が必要である旨の説明があった。

4. 高等教育の修学支援新制度の周知について

野崎副学長から、「資料：報－4」に基づき、高等教育の修学支援新制度について、申請期間が短く申請方法も複雑であり、学生には不明な点も多いことから、近日中に学生向けの説明会を実施し、学生への周知徹底を図る予定である旨の報告があった。

◇主な意見

○スケジュールもタイトであることから、学生が申請を逃すことがないように、学生にもしっかり情報を見るように、ご指導いただきたい。

5. リクナビDMPフォローの問題について

野崎副学長から、「資料：報－5」に基づき、リクナビDMPフォロー問題について、問題の概要と対応状況、本学学生への影響及び本学としての今後の対応方針について報告があった。

6. COC+に係る報告

富樫副学長から、「資料：報－6」に基づき、COC+に係る現在の課題、エキスパート資格の受講生募集及び平成30年度外部評価委員会の評価等について報告があった。

また、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）シンポジウム「三重創生ファンタジスタ養成事業の総括と展望」を11月23日（土）に開催する旨の報告があり、多くの方の参加をお願いしたい旨の報告があった。

7. 令和2年度科研費の応募状況について

緒方理事から、「資料：報－7」に基づき、科学研究費補助金の申請状況の報告があり、提出期限までに積極的に申請していただくよう部局長等への協力依頼があった。

8. 三重大学リサーチセンター認定期間の更新について

橋本副学長から、「資料：報－8」に基づき、リサーチセンターの認定期間の更新について、報告があった。申請は随時可能であるので、積極的にご利用いただきたい旨の依頼があった。

9. 令和元年度学位記授与式及び令和2年度入学式について

企画総務部長から、「資料：報－9」に基づき、令和元年度三重大学学位記授与式及び令和2年度三重大学入学式の挙行についての連絡があった。

10. 三重大学創立70周年記念特別講演会について

企画戦略チーム今村チーム員から、「資料：報－10」に基づき、三重大学創立70周年記念特別講演会を11月20日（水）に開催する旨の報告があった。多くの方に参加いただくよう依頼があった。

11. 「働き方改革」に係る講演会の実施について

尾西理事から、「資料：報－11」に基づき、「働き方改革」に係る講演会として「トモシヨク（共食）のススメ」を11月5日（火）に開催する旨の報告があった。多くの方に参加いただくよう依頼があった。

12. 工学部学生の懲戒処分期間の満了について [報告事項終了後、関係者のみにて報告]

畑中工学部長から、前回（9月18日開催）の教育研究評議会において「有期停学」となった学生1名について、当該学生の懲戒処分期間満了による処分解除についての報告があった。

13. その他

なし

以上